



朝日放送グループホールディングス株式会社

2021年3月期第2四半期 決算説明会資料

2020年11月13日



ABC

証券コード: 9405

連結業績について

朝日放送グループホールディングス
代表取締役社長
沖中 進

連結業績

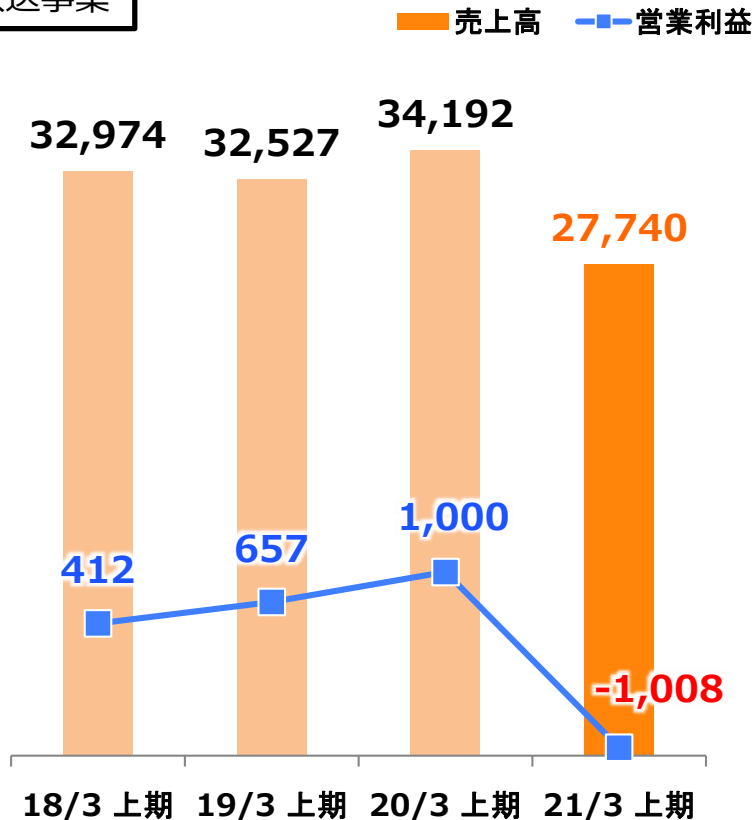
(単位：百万円)

		20/3 上期	21/3 上期	前期比	増減率
売上高		40,228	33,077	△7,151	△17.8%
営業費用		38,862	34,195	△4,666	△12.0%
内訳	売上原価	26,897	23,358	△3,538	△13.2%
	販管費	11,965	10,836	△1,128	△9.4%
営業利益		1,365	△1,118	△2,484	-
経常利益		1,507	△900	△2,408	-
親会社株主に帰属する 当期純利益		866	△604	△1,470	-

新型コロナウイルス感染拡大が広告収入を中心に大きく影響し減収減益

セグメント別 業績

放送事業



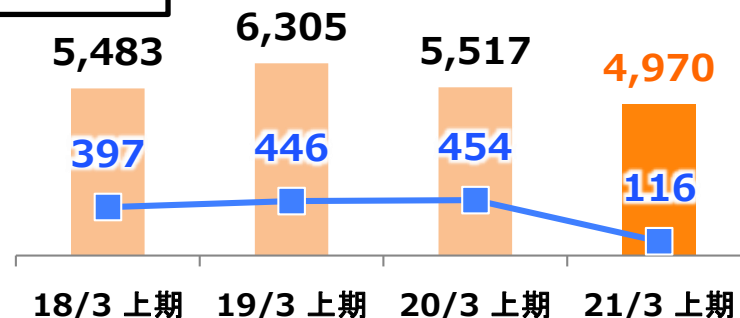
ポイント

売上高・営業利益：減収減益

コンテンツ関連や通販事業は堅調だったが主力のテレビ事業が、広告主から出稿が減ってスポットCM収入が大幅に減り、赤字に。

ハウジング事業

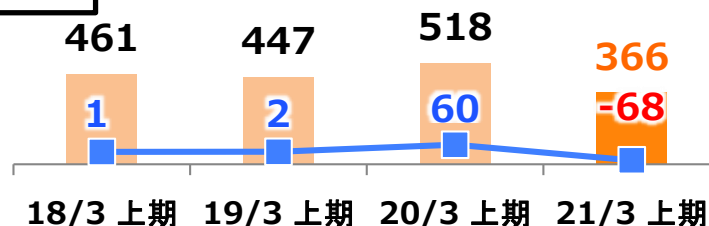
(単位：百万円)



売上高・営業利益：減収減益

住宅展示場・HDCの出展料等を一時減額したことが影響

ゴルフ事業



売上高・営業利益：減収減益

昨年あった会員募集が無かったことに加え、コロナ禍でコンペ開催等が激減して団体客が減ったことが影響

その他調整額	20/3	21/3
営業利益	△150	△157

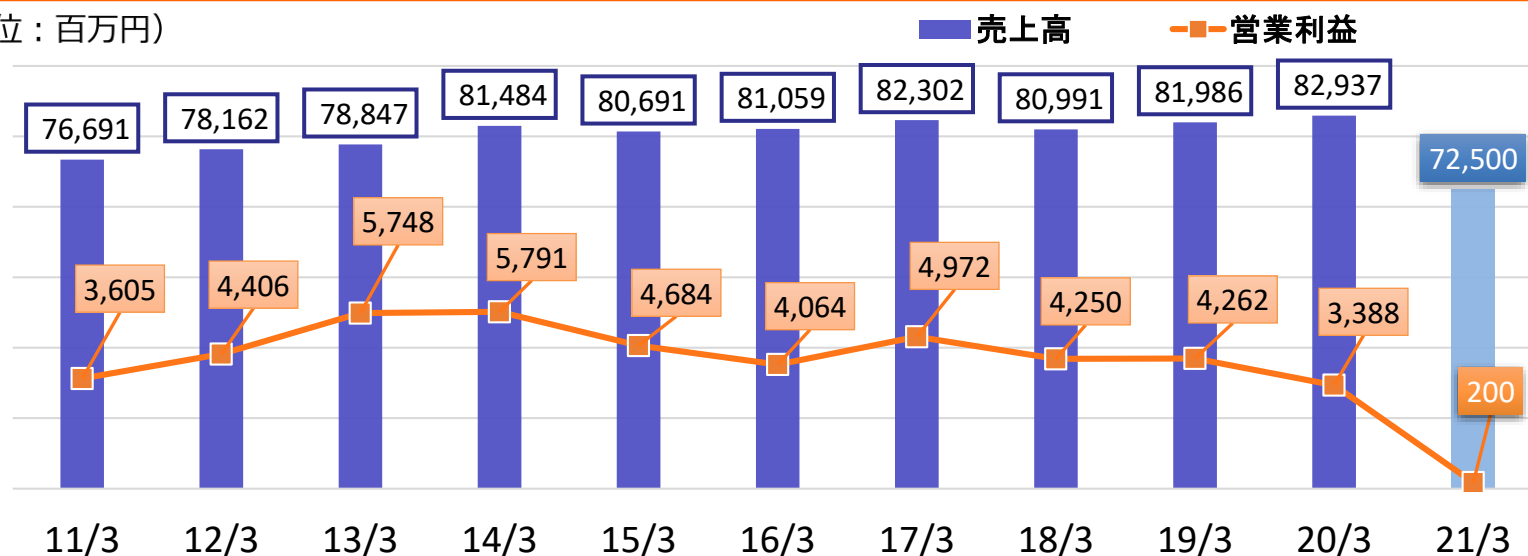
(注) 数字は連結調整後

2021年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	20/3 (実績)	21/3	前期比	増減率
売上高	82,937	72,500	△10,437	△12.6%
営業利益	3,388	200	△3,188	△94.1%
経常利益	3,633	500	△3,133	△86.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,278	300	△1,978	△86.8%

(単位：百万円)



米Quibi社の事業停止に伴う損失の可能性について

当社は、今年3月、特定子会社 Pegasus Tech Ventures Company Ⅲ, L.P.(以下「ペガサスファンド」)を通じてQUIBI Holdings, LLC(以下「Quibi 社」)に出資を行いましたが、10月22日、Quibi社が、米国において今後の事業を停止する旨の発表を行いました。

これに伴い、特定子会社における投資有価証券（Quibi 社への出資 25 百万米ドル）に係る評価損の可能性があります。

本件による当社の業績への影響は精査中であり、現時点の通期予想には反映されていません。公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

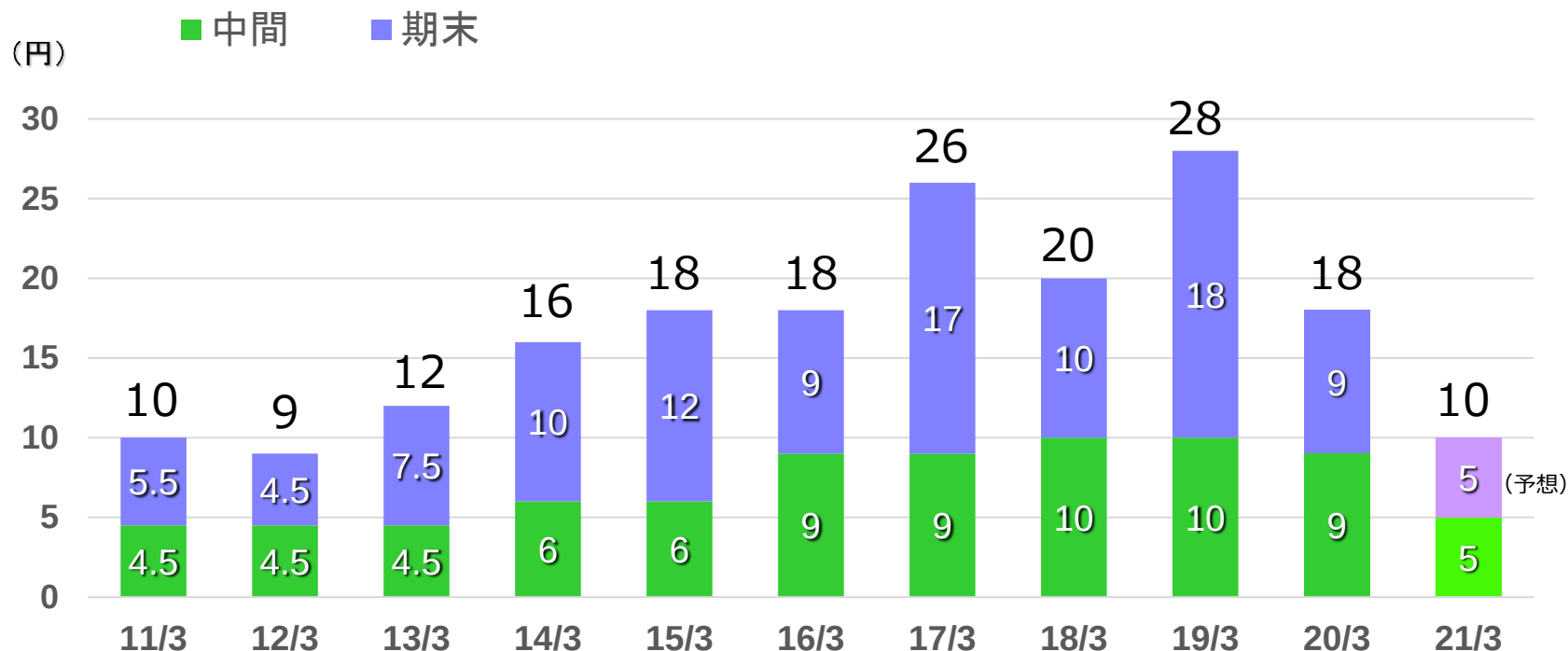
Quibi社への出資目的

当社グループの「総合コンテンツ事業グループ」としての成長戦略に基づき、Quibi社の米国でのショートコンテンツプラットフォーム事業に投資をし、当社グループのアニメ作品の米国市場への供給を通じて関係を築くとともに将来、Quibi社の日本進出時の共同事業パートナーとして、動画配信プラットフォーム事業を展開することを目指した。

- 放送事業は、媒体価値の更なる向上を図る
- コンテンツ事業は、アニメ、ドラマを中心に伸長する
- ライフスタイル事業を中心に、新規事業を創出する
 - ・ 社会課題の解決をテーマに、当社グループならではの事業を行う（シニア支援、健康増進、地域創生など）
- 今後の投資について
 - ・ 将来を見据えた、中長期的な視点での投資を着実に行う

放送事業・コンテンツ事業・ライフスタイル事業
三位一体となって、力強い持続的成長を目指す

配当について



<当期の配当について>

当社は、株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つと位置づけており、株主還元については、業績と将来必要となる自己資本の水準を総合的に勘案した上で、中長期にわたり安定的に継続していくことが重要と判断しております。このため、特定子会社における投資有価証券にかかる評価損の可能性や新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として見通せない厳しい状況ではありますが、当期の中間配当を5円、期末配当予想を5円とし、1株あたりの年間配当は10円の予想となります。

放送・コンテンツ事業 について

朝日放送グループホールディングス 代表取締役副社長
朝日放送テレビ 代表取締役社長
山本 晋也

朝日放送テレビ 業績

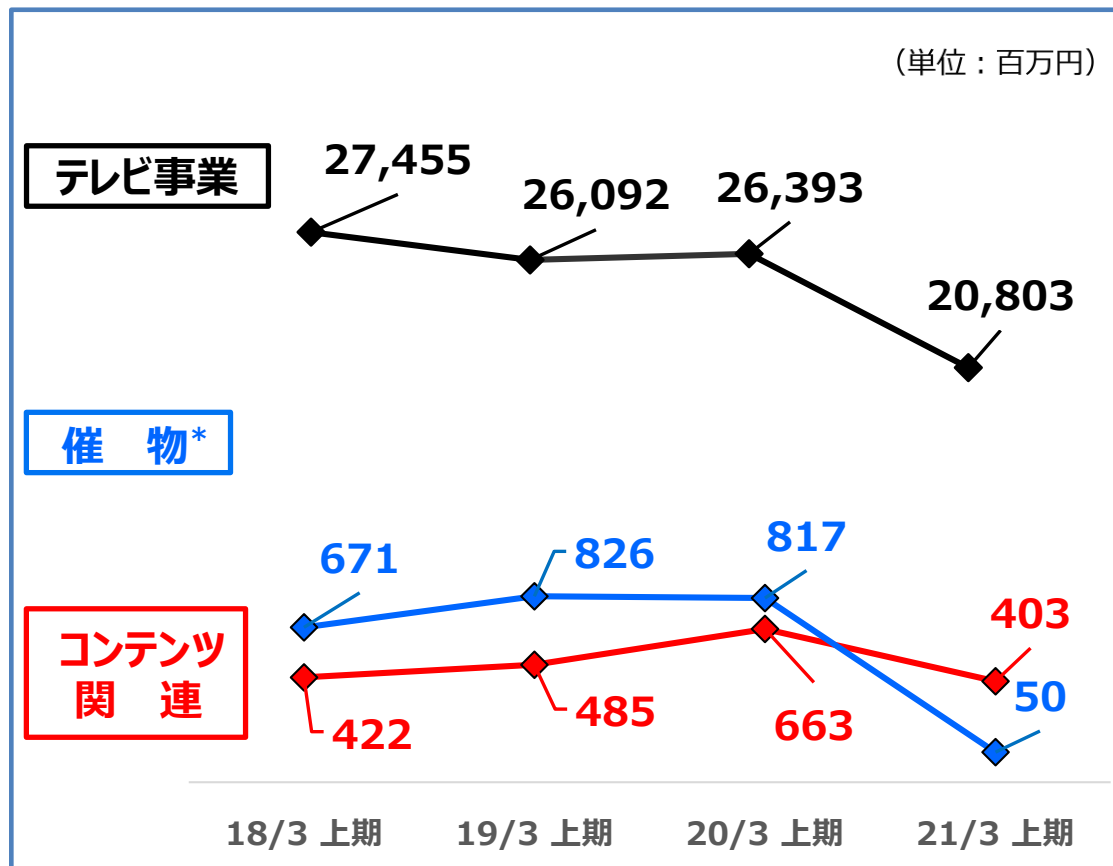
(単位：百万円)

		20/3 上期	21/3 上期	前期比	増減率
売上高		28,311	21,726	△6,584	△23.3%
営業費用		28,185	23,354	△4,830	△17.1%
内訳	売上原価	17,930	14,596	△3,333	△18.6%
	販管費	10,255	8,757	△1,497	△14.6%
営業利益		125	△1,628	△1,753	-
経常利益		158	△1,590	△1,748	-
当期純利益		14	△1,070	△1,085	-

ポイント

- ▶ スポット広告収入の減収幅が大きく減収減益
- ▶ コロナ禍による高校野球、大型イベント中止なども影響

朝日放送テレビ 収入の推移（上期）



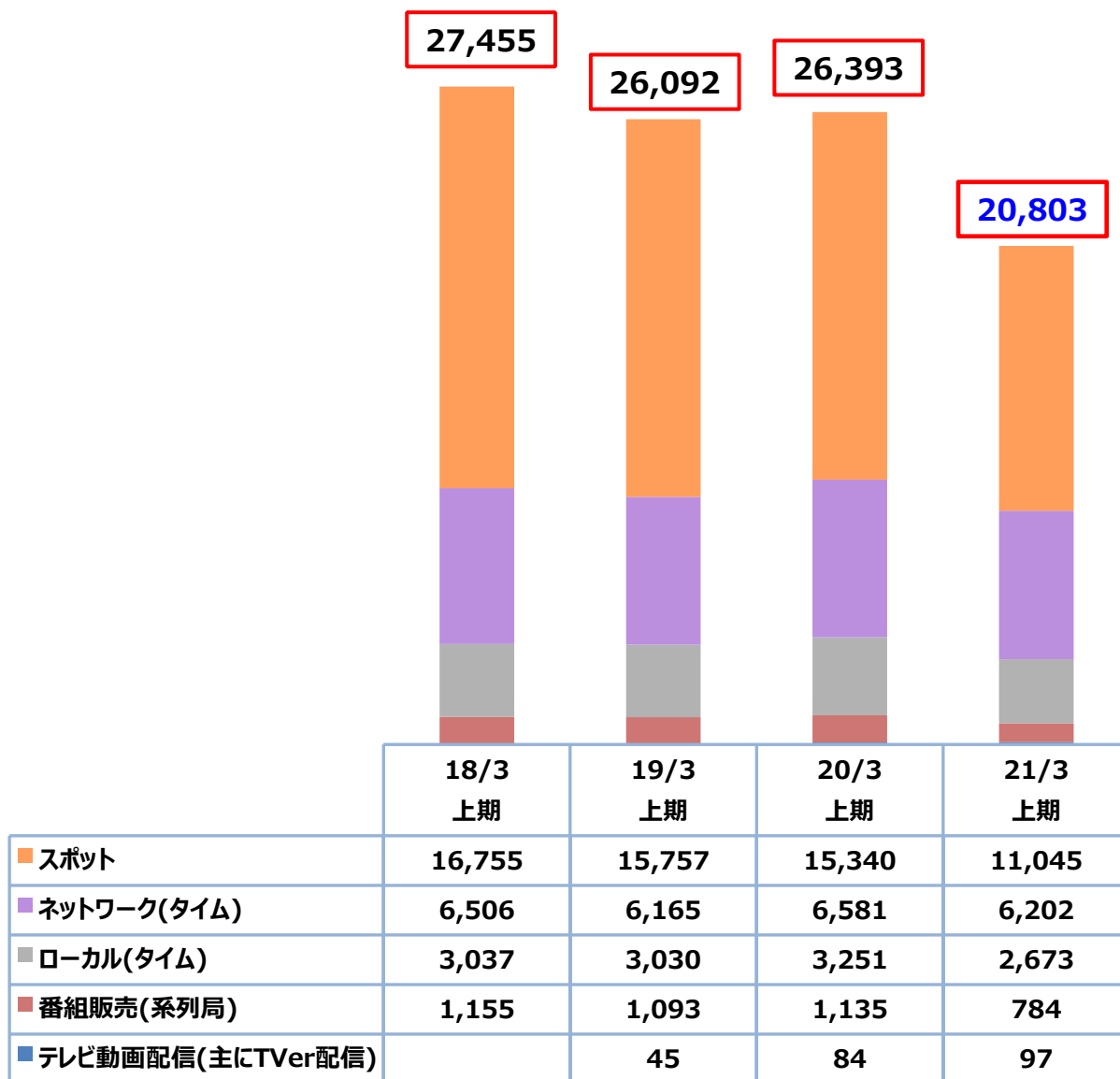
* 2018年3月期の「催物収入」には、ラジオイベントも含む

2021/3上期の概要

- ◆**テレビ事業収入 ↓ 21.2%**
 - ・スポット広告が大きく減少
 - ・ネットタイム広告は横ばい
 - ・動画配信収入は前年越え
- ◆**催物収入 ↓ 93.8%**
 - ・コロナによりほぼ全ての催物中止
- ◆**コンテンツ関連収入 ↓ 39.3%**
 - ・夏の高校野球休止による「バーチャル高校野球」縮小

	18/3	19/3	20/3	21/3
その他	251	482	436	469

テレビ事業 収入の内訳



■ スポット

- ・前年同期比 28.0% ↓
- ・地区投下 26.6% ↓

■ ネットワーク (タイム)

- ・前年同期比 5.8% ↓
- ・高校野球中止などによる減
- ・「ポツンと一軒家」など視聴率好調で奮闘

■ ローカル (タイム)

- ・前年同期比 17.8% ↓
- ・高校野球・フード&スマイル催事中止などによる減
- ・「おはよう朝日です」など平日朝帯のセールス好調

■ 番組販売 (系列局向け)

- ・前年同期比 30.9% ↓
- ・プロ野球中継による減など

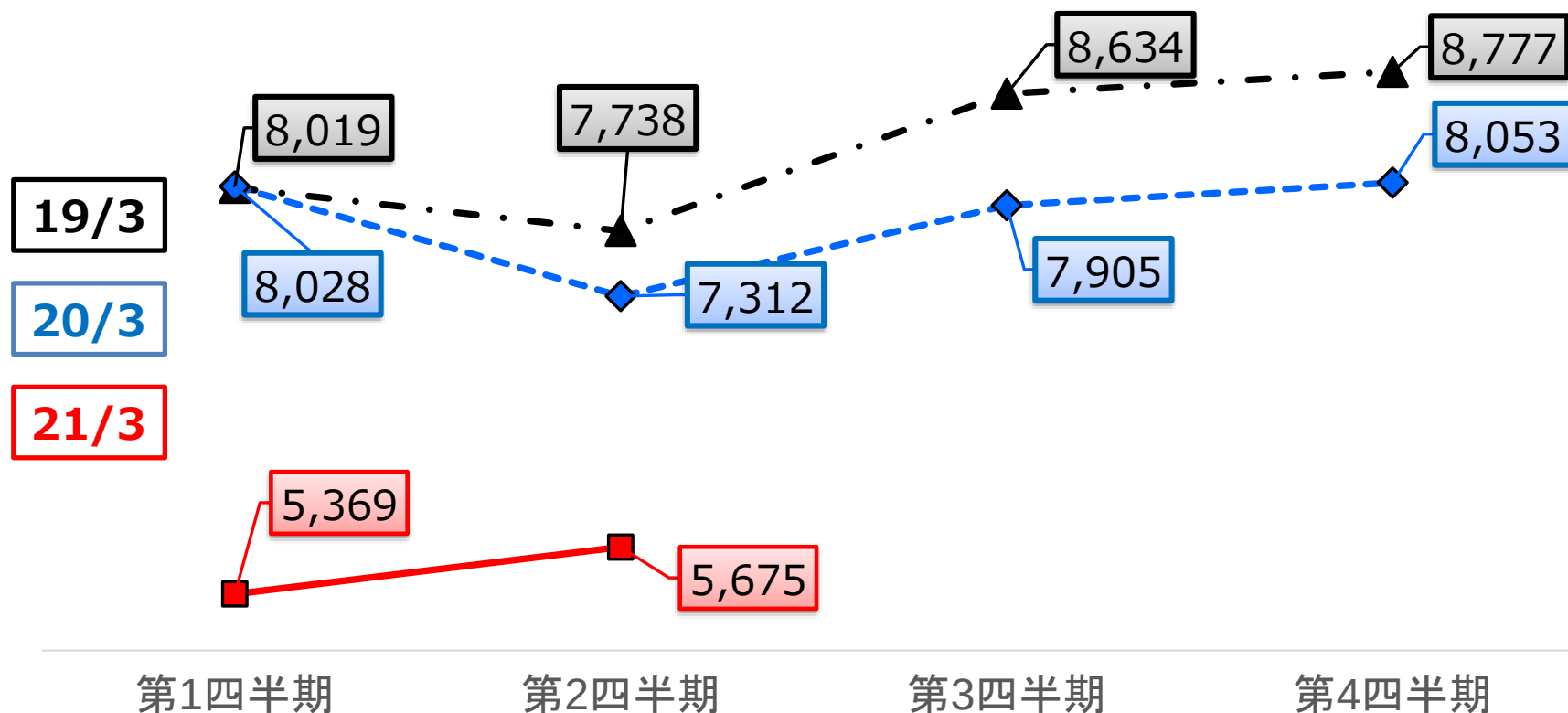
■ テレビ動画配信 (主にTVer配信)

- ・前年同期比 15.4% ↑
- ・「相席食堂」やドラマコンテンツ好調

(単位: 百万円)

テレビ事業 スポット収入（四半期ごとの推移）

（単位：百万円）



- ▶ コロナ禍による出稿控えの影響が大きく、前年を大きく下回る厳しい結果
特に第1四半期は、前年比66.9%と激減。
- ▶ 9月に若干復調の兆しが見え、第2四半期は第1四半期よりは持ち直したものの、
五輪延期に伴う広告費削減など、全体的に厳しい市況が続いた。

テレビ事業 スポット収入（業種別20位まで）

業 種	20/3 上期		21/3 上期	
	増減率	構成率	増減率	構成率
食品	88.3%	10.6%	79.3%	11.7%
交通・レジャー・外食・サービス	108.3%	12.2%	59.7%	10.1%
飲料・アルコール飲料	93.8%	8.6%	75.6%	9.0%
薬品・医療用品	89.9%	6.9%	88.6%	8.5%
情報・通信	88.3%	7.3%	69.6%	7.0%
自動車	95.3%	7.5%	62.9%	6.6%
化粧品・トイレタリー	81.8%	6.5%	66.2%	5.9%
金融	91.6%	6.3%	66.6%	5.8%
家電・コンピュータ	125.9%	6.2%	66.7%	5.7%
趣味(映画・ゲーム・音楽など)	78.9%	5.0%	69.7%	4.9%
官公庁・政治団体	152.5%	3.1%	101.8%	4.4%
通信販売	121.7%	1.7%	185.1%	4.3%
住宅・不動産・建設	87.2%	3.7%	53.5%	2.7%
出版	113.8%	2.6%	67.2%	2.4%
エネルギー・機械・素材	160.6%	2.9%	58.6%	2.4%
ファッション（衣料・貴金属など）	112.8%	2.9%	56.5%	2.3%
家庭用品	94.9%	1.2%	126.4%	2.0%
流通	93.2%	1.7%	63.4%	1.5%
運輸・事業・イベント	109.0%	1.3%	67.7%	1.3%
各種団体(法律事務所など)	96.4%	1.7%	46.9%	1.1%
その他	691.7%	0.1%	120.1%	0.2%
合計		100.0%		100.0%

※増減率は前年同期比

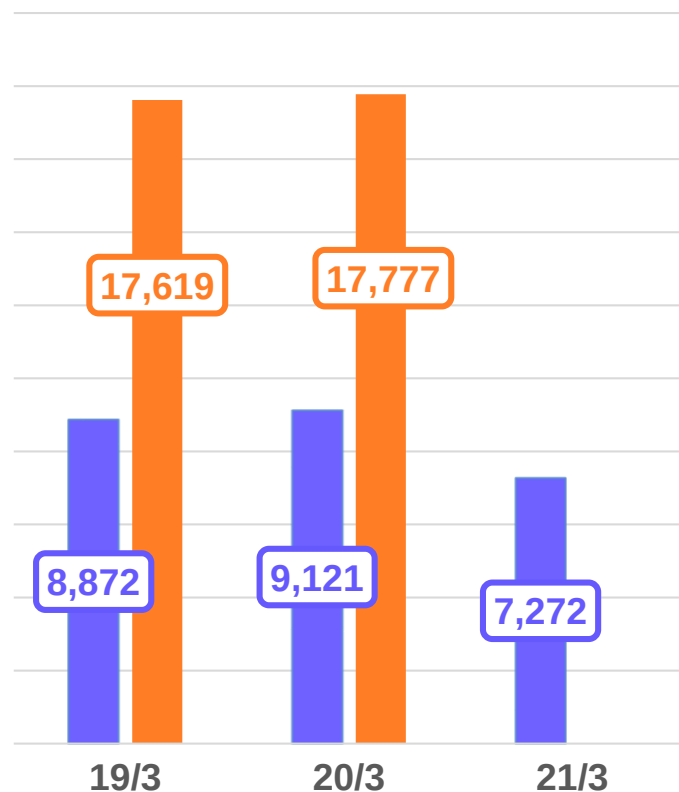
- ▶ コロナの影響で、レジャー業種を筆頭に、多くの業種が大幅出稿減
- ▶ 感染対策関連の官公庁、通信販売、食事宅配サービス、テレワーク支援サービス、除菌・抗菌関連など増加業種もコロナ起因が目立った

テレビ事業 番組費*

(単位：百万円)

(単位：百万円)

■ 上期 ■ 通期



2021年3月期のポイント

- ▶ 減少の主要因は、
コロナ禍での中継・収録中止の影響
- ▶ その他、単価コントロールなど
番組費最適化によるもの

*番組費の考え方：地上波放送＋二次利用（動画配信・催物等）の収支を見ながら検討

2020年度上期 関西地区【個人全体】視聴率

(出典：ビデオリサーチ)

個人 全体	全 日 (6-24時)	ゴールデン (19-22時)	プライム (19-23時)	プライム2 (23-25時)
1	YTV 4.7%	YTV 7.4%	YTV 7.1%	YTV 4.0%
2	KTV 4.3%	NHK 6.6%	ABC 6.8%(+0.5)	ABC 3.2%(-0.3)
3	ABC 4.2%(+0.5)	ABC 6.4%(+0.4)	KTV 6.0%	MBS 2.7%
4	MBS 3.8%	KTV 6.1%	MBS 5.9%	KTV 2.5%
5	NHK 3.2%	MBS 5.9%	NHK 5.6%	NHK 1.3%

■ABC (テレビ朝日系) ■MBS (TBS系) ■KTV (フジテレビ系) ■YTV (日本テレビ系) ■NHK

※ () 内は前年同期比

2020年度上期 関西地区【世帯】視聴率

(出典：ビデオリサーチ)

世帯	全日 (6-24時)	ゴールデン (19-22時)	プライム (19-23時)	プライム2 (23-25時)
1	YTV 8.4%	NHK 11.8%	ABC 11.9%(+0.7)	YTV 7.4%
2	KTV 8.0%	YTV 11.6%	YTV 11.2%	ABC 6.1%(-0.4)
3	ABC 7.8%(+0.7)	ABC 11.0%(+0.5)	NHK 10.1%	MBS 5.2%
4	MBS 7.1%	KTV 10.0%	KTV 10.0%	KTV 4.9%
5	NHK 6.1%	MBS 9.7%	MBS 9.8%	NHK 2.7%

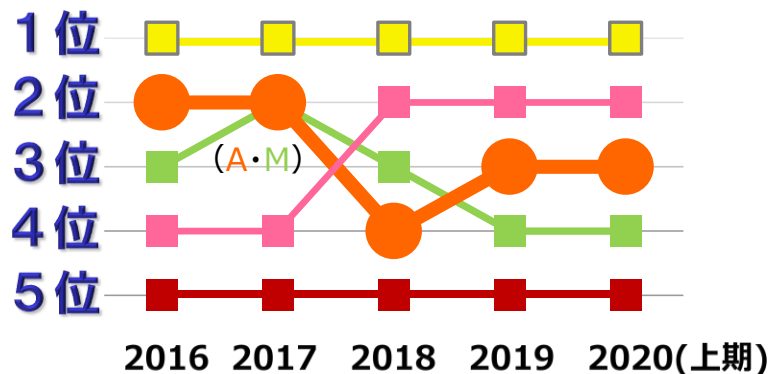
■ABC (テレビ朝日系) ■MBS (TBS系) ■KTV (フジテレビ系) ■YTV (日本テレビ系) ■NHK

※ () 内は前年同期比

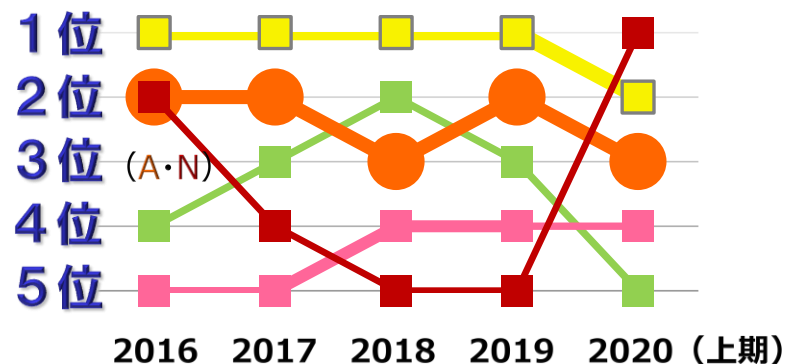
関西地区【世帯】視聴率 年度順位の推移

(出典：ビデオリサーチ)

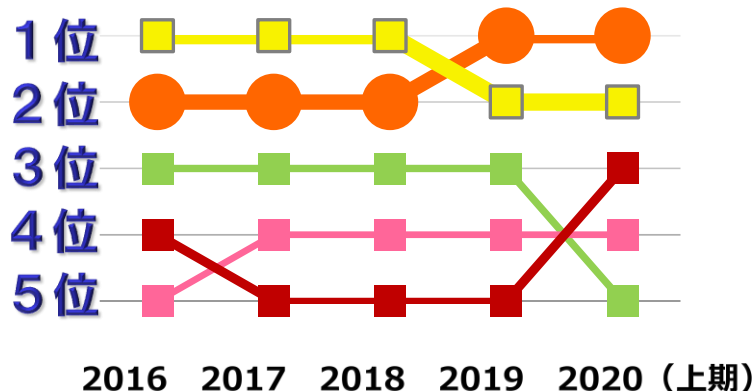
全 日 (6時～24時)



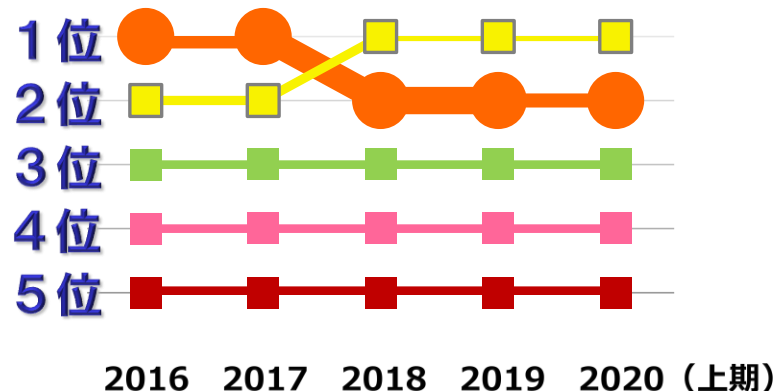
ゴールデン (19時～22時)



プライム (19時～23時)



プライム 2 (23時～翌日1時)



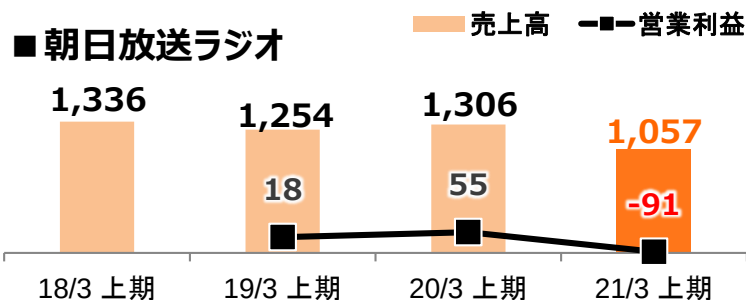
ABC (テレビ朝日系) MBS (TBS系) KTV (フジテレビ系) YTV (日本テレビ系) NHK

注：20年度のみ上期

その他放送事業 朝日放送テレビ関連以外①

※主たる売上が「グループ外収入」の会社

(個別 単位：百万円)

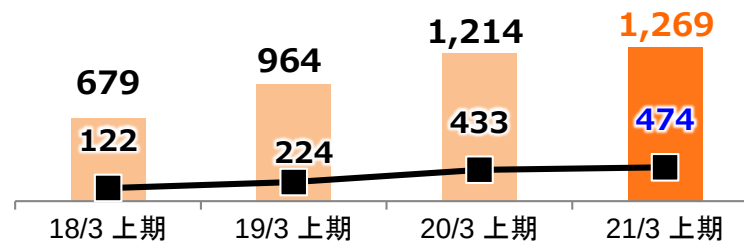


売上高・営業利益：減収減益

コロナ禍による広告出稿控えが影響

注) 2018年3月期以前は旧朝日放送のラジオ放送事業売上

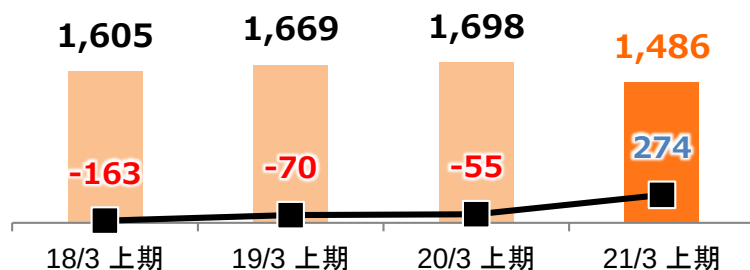
■ ABCフロンティアG (コンテンツ関連)



売上高・営業利益：増収増益

ドラマDVDなど物販関連が好調
音楽出版事業の移管による影響

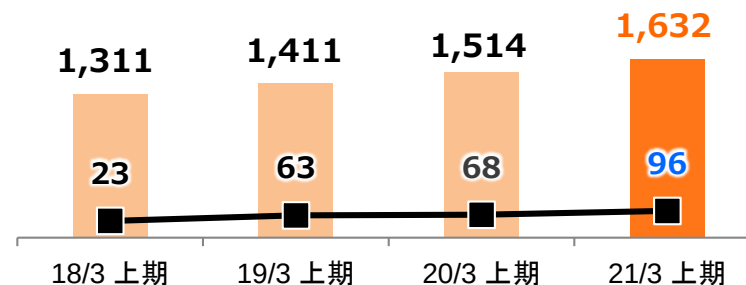
■ スカイA (CS放送収入)



売上高・営業利益：減収増益

プロ野球の試合数減、ゴルフ大会の中止が影響
売上高の減少を費用の減少が上回り増益

■ AMC (通販・ラジオ制作等)



売上高・営業利益：増収増益

コロナによる「家ナカ消費」需要で通販事業が好調
注) 20年4月 音楽出版事業をAMCからABCフロンティアHDに移管

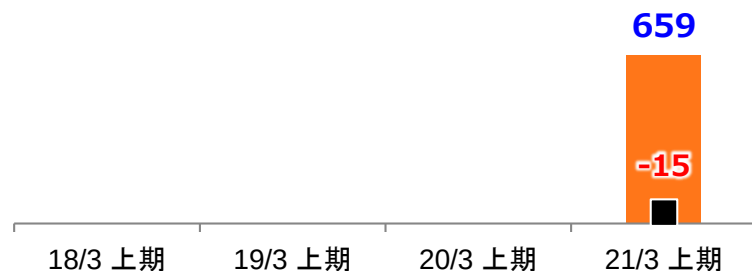
その他放送事業 朝日放送テレビ関連以外②

※主たる売上が「グループ外収入」の会社

(個別 単位：百万円)

■売上高 ■営業利益

■ マッシュ*



■ DLE（グループ）*



コロナ“直撃”も赤字幅最小限に
4月以降、受注イベントはコロナでほぼ中止
持続可給付金事業など新たな受注を獲得しカバー

新規投資などで費用が先行
(株)DLE決算資料から抜粋
詳細はDLE決算発表をご参照ください

* マッシュ・DLE（グループ）は20年3月期 第2四半期以降にPL連結

2020年度 上期の取り組みと成果

コロナ禍における放送局としての“社会的使命”

- * 多くの制限や自粛の中で、収録・取材・編集などを極力リモートで実施し、報道・番組ともに継続
- * 高校生応援プロジェクト「雨のち晴れ」：
インターハイ、甲子園など、コロナで“晴れ舞台”を失った高校生を応援する番組・配信等を実施

「地上波＋α」の展開・収益力加速

- * 日曜深夜ドラマL 枠：
 - ▶ 「年下彼氏」（4月～）：
関西ジャニーズJr.が総出演した恋物語で話題、放送後に発売したビデオグラムが大ヒット。
 - ▶ 「不倫をコウカイしてます」（9月）もTVerやGYAOなど配信で好記録達成。

VR技術を駆使した「バーチャル・カンファレンス」サービスの提供

- * 外資系製薬会社より受注。運営はマッシュ、VR技術をアイネックスというグループ連携で実現
- * イタリア、東京、大阪の拠点および日本各所の販売代理店約30か所をつなぎ、9/10実施
＝コロナ禍で来日できないCFOがイタリアより参加
- * クオリティをはじめクライアントからの評価高く、下期に新たな受注を獲得

2020年度 下期の取り組み

「おはよう朝日です」3時間生放送に拡大！

- * “関西の朝の顔”として親しまれている「おはよう朝日です」を
5時からの3時間放送に拡大
- * 1日の始まりに知っておきたいニュース・情報など
「生活者に寄り添った」内容でお届け
- * リニューアルを機に、新たな挑戦・展開：
主題歌は「OHA-1グランプリ」を開催し、優利香さんの「眩しい朝日」に決定
おき太くん・めざめちゃんに次ぐ第3のキャラクターも誕生 ➡ **放送外収入を見据えた展開**に着手



ドラマ・ショートコンテンツなど“戦略的放送枠”の新設

- * 日曜深夜に「**ドラマ+**」枠を**新設**し、既存の「ドラマL」枠に引き続き、ドラマを放送
10月クール初回作品：「僕らは恋がヘタすぎる」 川島海荷、白洲迅主演
- * **ジャニーズWEST**の「あなたの代わりに見てきます！リア突WEST（土曜深夜・10/4開始）」
Aえ! groupの「THE GREATEST SHOW-NEN（11/7開始）」を**2つのジャニーズ枠を編成**
- * 平日深夜帯に、**ショートコンテンツ「ファストライク！」枠を新設**
若手ディレクターが手掛けるショートコンテンツ、YouTube配信なども展開
- * **ティーン・若年層をターゲット**にできる、**マルチ展開可能なコンテンツ**を見据え戦略的に増枠

2020年度 下期の取り組み（アニメ事業）

公開映画が大ヒット上映中

- * 京都アニメーションが制作を手掛ける
「劇場版 ヴァイオレット・エヴァーガーデン」
- * コロナで約半年延期（9/18公開）も



既に動員118万人超
* 現在も上映中で
動員を伸ばしている

©暁佳奈・京都アニメーション
／ヴァイオレット・エヴァーガーデン製作委員会

全国ネットの深夜アニメ枠を新設

- * 土曜深夜に初の全国ネットアニメ枠
「ANiMAZiNG!!!」をスタート
- * 全国のアニメファンを魅了する作品を
ラインナップ予定
➡ アニメ事業拡大の新たな足掛かりに
- * 初回作品は、スポーツライミングアニメ
「いわかける！ -Sport Climbing Girls-」

アニメ制作会社をグループ化し、バリューチェーンを強化

- * 会社名：**SILVER LINK.**
- * 事業内容：テレビ・ビデオ等、アニメーション作品の企画製作・制作
- * 10/1付で当社が株式100%を取得、**グループ初のアニメ制作会社**
- * 既存のグループ社（ABCアニメーション、ABCテレビ、プロセスタジオ等）で
「企画」「制作」「流通」を一気通貫で行えるバリューチェーンの構築へ



参考資料

グループ会社一覧

★ 連結対象

(2020年10月現在)



朝日放送テレビ(株)
テレビ放送事業



朝日放送ラジオ(株)
ラジオ放送事業



(株)スカイA
CS放送事業



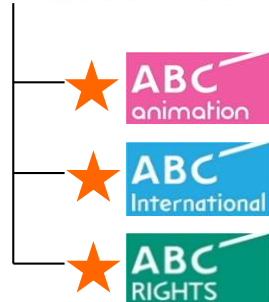
(株)エー・ビー・シーメディアコム
通信販売業務、ラジオ番組制作、音源・
楽曲制作、代理店業務



(株)エー・ビー・シーリブラ
TV番組企画・制作、映像の保存・管理



(株)ABCフロンティアホールディングス
(株)ABCアニメーション、(株)ABCインターナショナル、(株)ABCライツビジネスの経営管理、ライツ管理、音楽出版、新規事業開発



(株)ABCアニメーション
アニメコンテンツの企画・製作、海外販売、物販など
(株)ABCインターナショナル
番組販売、フォーマット販売など海外に関する収益事業
(株)ABCライツビジネス
パッケージ販売、物販事業、ライセンス事業、
キャラクター事業



(株)デジアサ
デジタルコンテンツ制作、字幕制作



(株)アイネックス
総合技術プロダクション



(株)マッシュ
イベント企画・制作、プロモーション



(株)ディー・エル・イー
ファスト・エンターテインメント事業



ちゅらっず(株)
ゲームコンテンツ企画/開発/運営



プロセンススタジオ(株)
ポスト・プロダクション、音響制作



(株)SILVER LINK.
テレビ・ビデオ等、アニメーション作品の企画
製作・制作



エー・ビー・シー開発(株)
住宅展示場の企画・運営、ハウジング・
デザイン・センターの企画・運営、保険
代理業、広告代理業、不動産事業



ハウジングサポート(株)
エー・ビー・シー開発(株)が主催する住宅展示場「ABCハウジング
住宅公園」の運営管理業務及び労働者派遣事業



(株)ABCゴルフ倶楽部
ゴルフ場運営



ABCドリームベンチャーズ(株)
コーポレートベンチャーキャピタルの運営



ABC HORIZON PTE. LTD
(本社:シンガポール)
海外での新規事業開発及びビジネス調査・
サポート



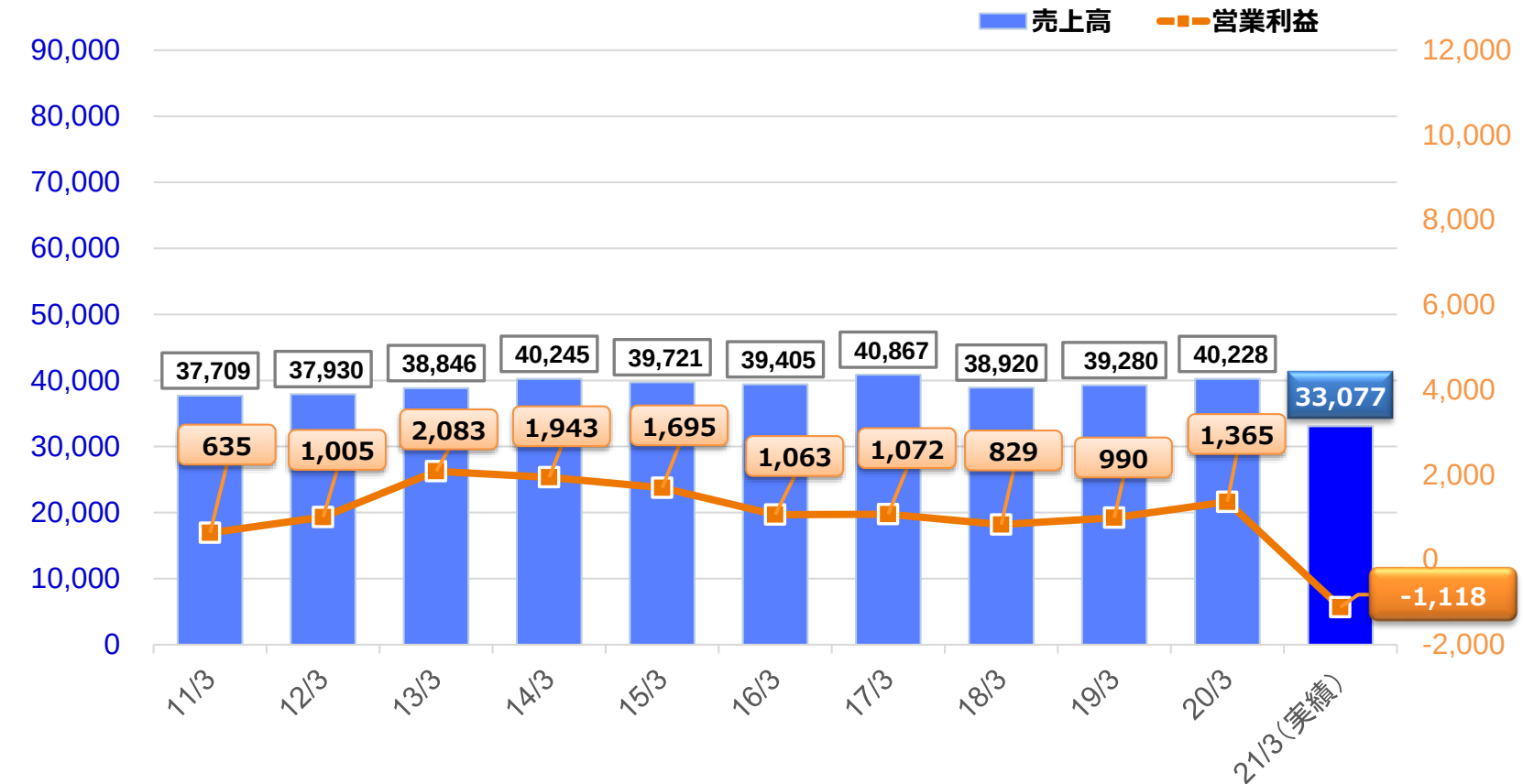
(株)エー・ビー・シー興産
警備保安業務、施設管理業務



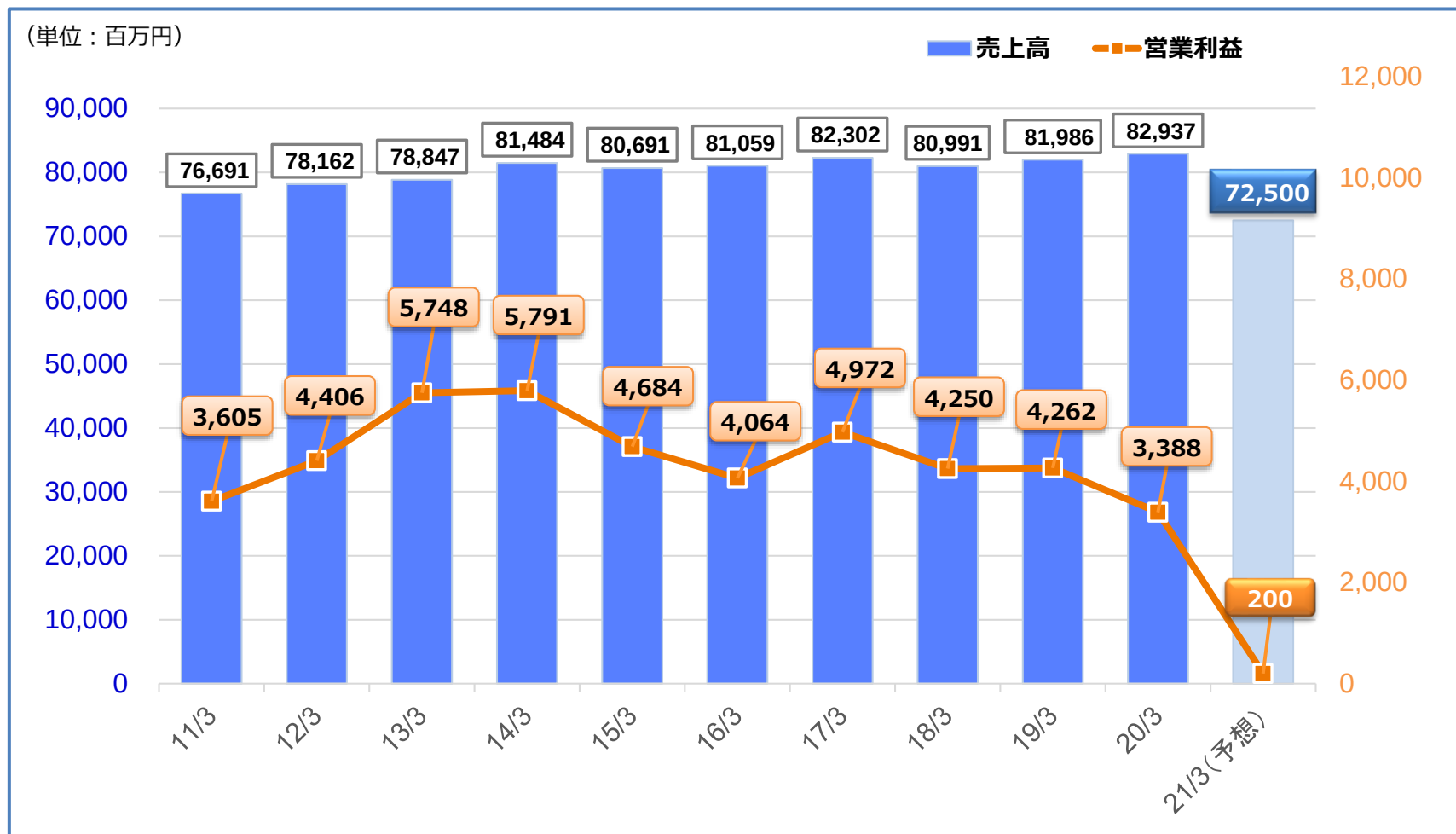
(株)ABC Glamp&Outdoors
グランピングを中核とした地域共創・エリア
開発プロデュース

11年間の売上高・営業利益 (連結:上期)

(単位: 百万円)



11年間の売上高・営業利益 (連結:通期)



テレビネットワーク

ABC テレビ 朝日放送テレビ

■本社:大阪 エリア:関西 2府4県+徳島、三重一部

2,165万人 1,009万世帯

(総務省:2019年1月1日住民基本台帳に基づく)

北海道テレビ放送 (HTB)

秋田朝日放送 (AAB)

新潟テレビ21 (UX)

青森朝日放送 (ABA)

岩手朝日テレビ (IAT)

山形テレビ (YTS)

東日本放送 (KHB)

福島放送 (KFB)

広島ホームテレビ (HOME)

山口朝日放送 (yab)

九州朝日放送 (KBC)

熊本朝日放送 (KAB)

長崎文化放送 (NCC)

福井放送 (FBC)

北陸朝日放送 (HAB)

長野朝日放送 (abn)

静岡朝日テレビ (SATV)

名古屋テレビ放送 (NBN)

琉球朝日放送 (QAB)

tv asahi テレビ朝日

■本社:東京 エリア:関東1都6県

4,351万人 2,065万世帯

テレビ宮崎 (UMK)

大分朝日放送 (OAB)

愛媛朝日テレビ (eat)

瀬戸内海放送 (KSB)

朝日放送テレビが放送する主な番組



「朝日放送テレビ」制作
全国ネット番組



「朝日放送テレビ」制作
ローカル番組



「テレビ朝日」等
制作の番組

自社制作率：38.0%

(2020年4月基本番組表に基づく)

テレビCM収入の種類と仕組み

	タイム 番組提供スポンサーを対象とするセールス 「この番組は〇〇の提供でお送りします」	スポット
期間 時間帯	原則 2 クール（6 ヶ月契約）固定	商品やキャンペーンごとに 設定自由
単位	30 秒から	15 秒から
放送エリア	全国ネットもしくはローカル（各局エリア）	ローカル
内容	広告主が個別の番組を提供し その番組中に含まれるCM放送枠を 使用する広告	番組と番組の間および 番組内のタイムCM枠外のCM 放送枠を使用する広告

（注 1） 全国ネットのタイム収入について

全国ネット番組は 1 番組あたりの収入が多い一方で、「番組制作費」に加え、系列各局の電波を借りるための「電波料」が必要なため費用も嵩む。

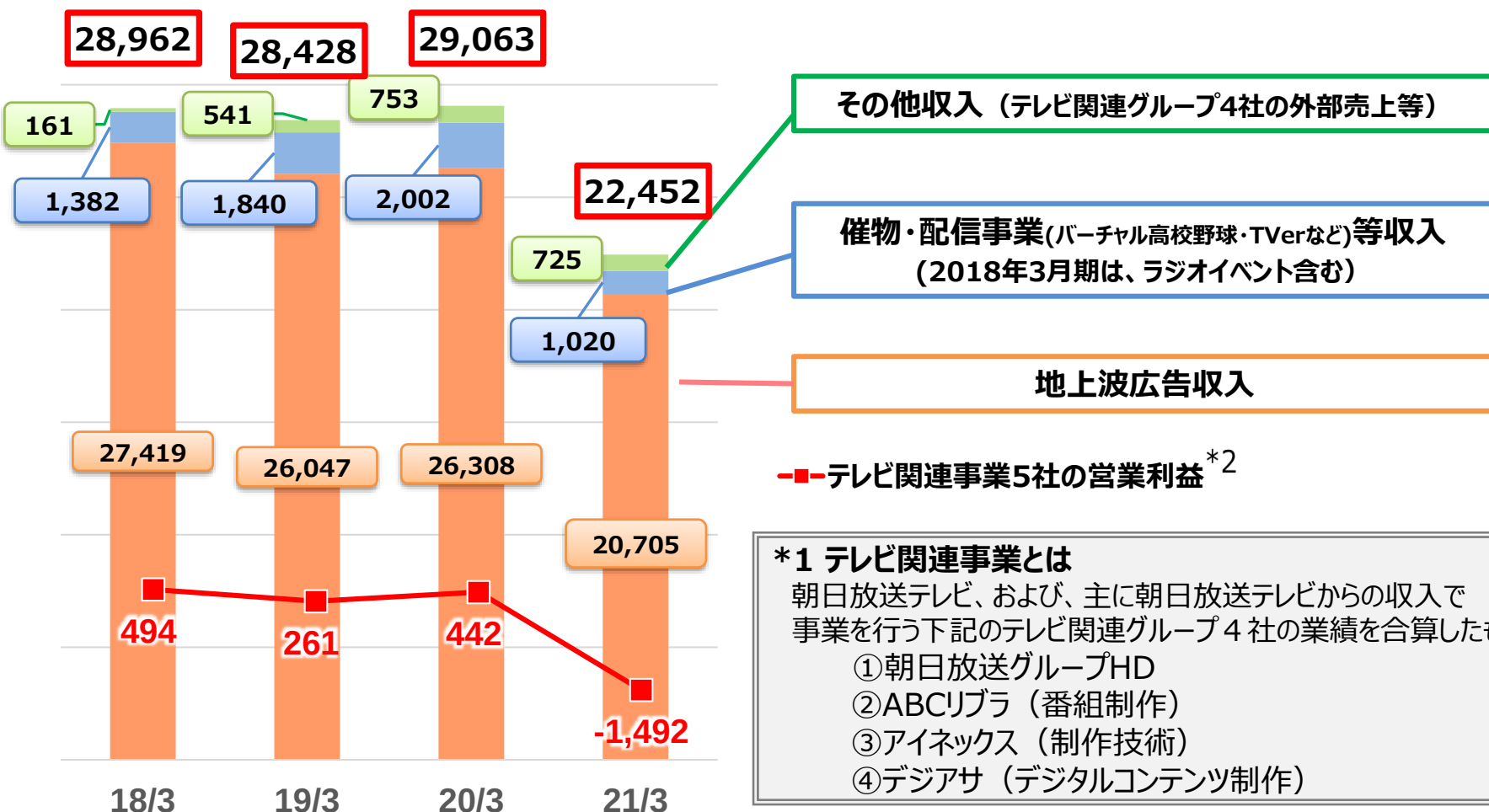
（注 2） スポットの収入について

放送時間の自由度が高いため、その時々のスポンサーのニーズに合わせるケースも多い。
スポットの価値は、視聴者数（HUT）×視聴率で割り出され、視聴率によって大きく変動する。
「利益」への貢献度が高い。

朝日放送テレビ関連事業^{*1}の推移（上期・参考値）

（単位：百万円）

■ 地上波広告収入 ■ 催物・配信事業収入 ■ その他収入



*1 テレビ関連事業とは

朝日放送テレビ、および、主に朝日放送テレビからの収入で事業を行う下記のテレビ関連グループ4社の業績を合算したもの

- ①朝日放送グループHD
- ②ABCリブラ（番組制作）
- ③アイネックス（制作技術）
- ④デジアサ（デジタルコンテンツ制作）

*2 2018年3月期は朝日放送グループHDを除く3社の合計。
朝日放送グループHDの営業利益については関係会社配当収入は除く。

「個人全体」視聴率とは

「個人全体」視聴率(ALL)

世帯内の4歳以上の家族全員の中で
どのくらいの人がテレビを視聴したかを示す割合

「世帯」視聴率

テレビ所有世帯のうち
どのくらいの世帯がテレビをつけていたかを示す割合

ビデオリサーチ視聴率調査サンプル 関西 1,200世帯 (2020年4月現在)

「個人全体」視聴率とは（例）



: 視聴あり



: 視聴あり

「世帯」視聴率

3世帯/5世帯

60%



「個人全体」視聴率

5人/14人

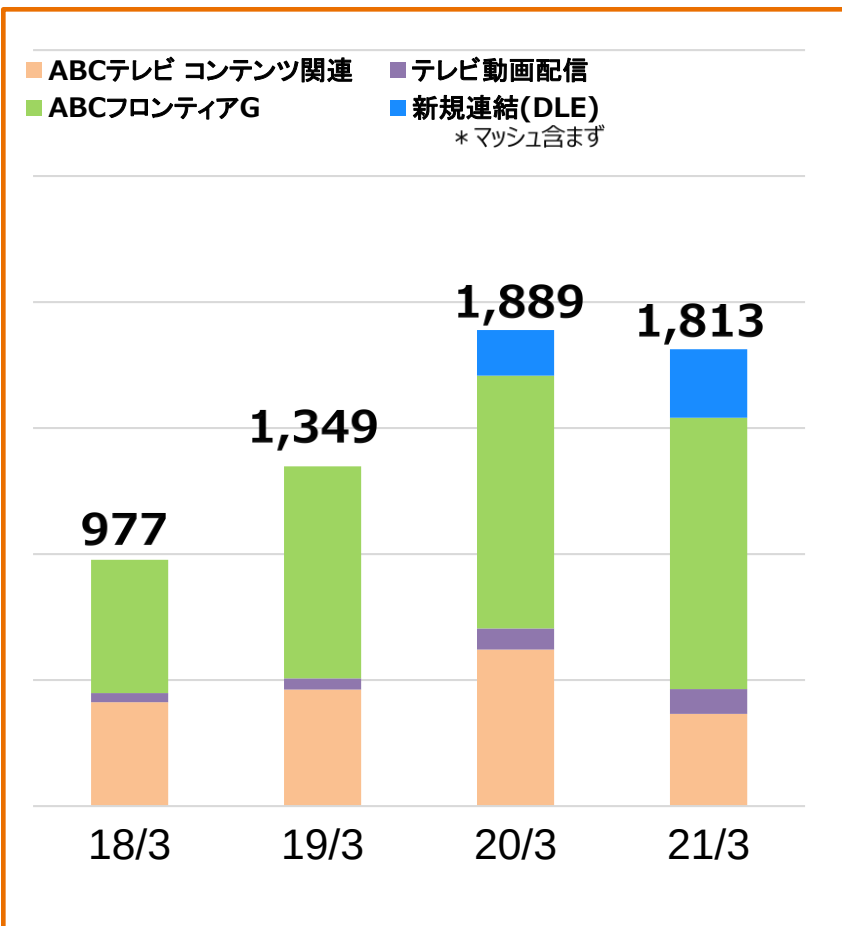
35.7%

どのくらいの“人”が
テレビを見たか

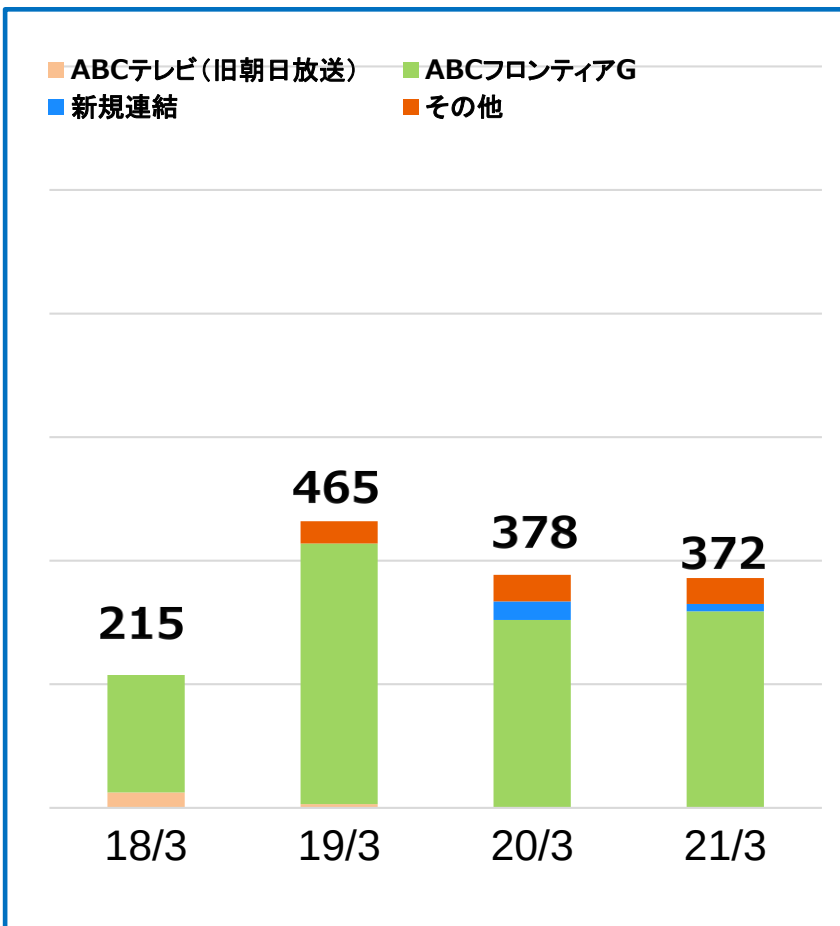
コンテンツ・海外事業の収入推移（上期・参考値）

（単位：百万円）

▼コンテンツ関連事業収入の推移



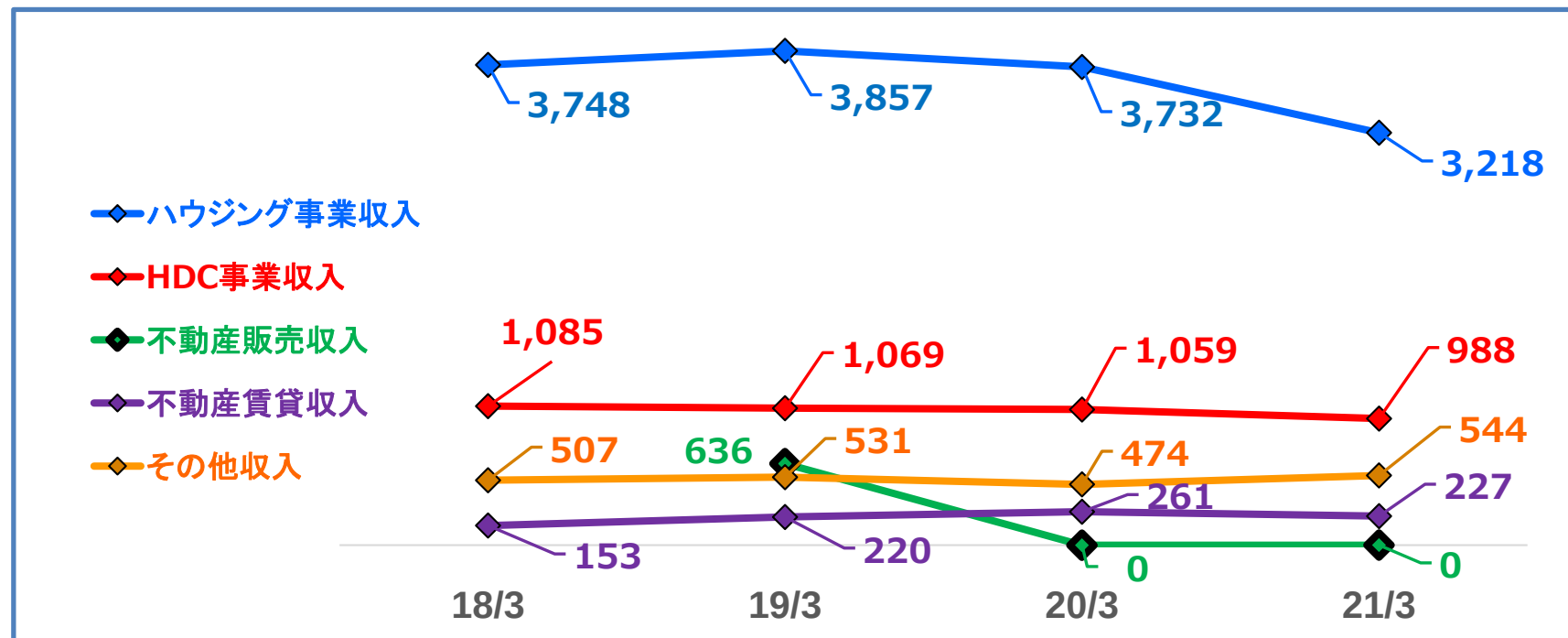
▼海外事業収入の推移



ハウジング事業:ABC開発（上期・個別）

（単位：百万円）

	18/3	19/3	20/3	21/3
売上高	5,494	6,317	5,528	4,979
営業利益	397	446	465	154



2号ファンド設立（2019年1月～）

対象：優れたIP、コンテンツ、テクノロジーを生み出すベンチャー企業

運用総額：18億円、運用期間10年 投資先：9件（2020年9月末時点）

ONE.MEDIA



brain|pool

データ統合とAI分析に優れた技術をもつシンガポール国立大発のスタートアップ企業
➤ 2020年10月神戸市で里山の保全・活用に向けた実証実験を実施

1号ファンド（2015年7月～）

ポートフォリオ：動画・アドテック、メディア、ライフスタイル等

投資先19件、投資合計8.8億円



NTT西日本と当社の共同で、次世代AIカメラ(Pixellot)を活用したスポーツ映像事業を展開する合併会社NTTSportictを4月に設立



2020年9月東証マザーズ上場承認、IPO時に株式売却予定

本資料に関するご注意

本資料に記載している当期の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づく判断及び日本経済は緩やかに回復していくという想定に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

今後の国内外の景気動向に加え、新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲等の外的要因により大きく変動する可能性があり、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表します。

会社情報サイト



<https://corp.asahi.co.jp>

これまでの決算短信、有価証券報告書、コーポレートレポートなどを掲載し
IRサイトの充実にも努めております。ぜひご覧下さい。